

清河八郎の墓（傳通院）

文京区小石川に建つ「傳通院」は徳川家康公の生母である於大の方の菩提樹です。この傳通院に幕末の志士「清河八郎」も眠っています。

清河八郎は、千葉周作に剣を、安積良齋あさか こんさいに儒学を学び、のちに学問と剣術と教える清河塾（No. 16 参照）を江戸に開き、幕府に進言し、将軍警護を行う浪士隊（のちの新撰組）結成に参画しました。

尊王攘夷を目指した清河は、幕府擁護を続けた近藤勇、土方歳三ら佐幕派と対立することになり、清河は江戸に戻され、その後幕府の役人の襲撃を受けて暗殺されました。享年 34 歳。

清河の死後、浪士組は幕府、庄内藩の預かりとなり、江戸市中を警護する新徴組（No. 17 参照）となりました。

◆傳通院 清河八郎の墓

東京都文京区小石川 3-14-6

東京メトロ 丸ノ内線・南北線「後楽園駅」出口 8 より徒歩 10 分

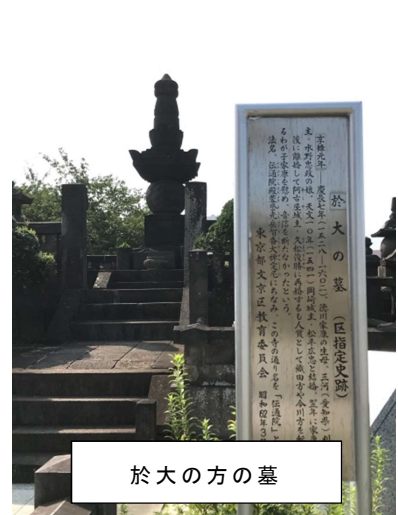
都営地下鉄 三田線・大江戸線「春日駅」出口 5 より徒歩 10 分



傳通院正門



清河八郎の墓



於大の方の墓